

議会だより はこね

主な内容

- 一般質問 P 2～5
- 決算特別委員会 P 6～7
- 12月定例会・賛否 P 8～9
- 委員会・議会活動報告 P 10～11
- 議員活動報告 P 12～15
- 議長フォトレポート P 15
- 箱根町百景巡り(湯立獅子舞)・編集後記 P 16



12月2日 教育福祉環境常任委員会で現場を視察！（詳細は10P）

町の考え方を問う！

般質問



12月定例会では、町政全般について、7人の議員が、13項目にわたる一般質問を行いました。質問者及び質問項目は、左の通りです。原稿についても質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものとなつておりますので、ご了承ください。

質問者	質問内容	ページ
勝俣 陽一	・箱根町における外国人住民に対する支援	
折橋 尚道	・町内のガソリンスタンド撤退	
川口 延明	・箱根ブランドの現状と今後	
鈴木 美貴	・生活インフラの整備 ・教育問題 ・災害・防災対策	
勝俣 建吾	・ごみの環境問題 ・湯本駅周辺のごみ対応	
丸子 英人	・出資による権利を有する外部組織 ・箱根関所の労働環境及び運営状況	
山田 和江	・物価高騰対策 ・ガソリンスタンドの閉鎖に関する町の取り組み ・ドッグランの創設	

5

4

3

2

答 **町長** 今月の上旬に、全国の自治体のうち計27市町村が今年1月時点の住民に占める外国人の割合が10%を超えていたとの報道があり、その報道によると政令指定都市の行政区を含む1892市町村中、本町は20番目の割合となつていています。

外国人住民10%超となつた、町の現状に對して

勝俣 陽一 議員



町 互いに尊重し合い、住みよい環境を構築していく

國立社会保障・人口問題研究所の調査によると2070年には日本に住む外国人は10・8%に達すると推計されているが、箱根町の場合は2025年1月1日時点で、外国人住民比率が11・2%となつていて、町の人口は2025年1月1日時点で10885人、外国人住民は1219人であり、現在もその数は増加し続けていることが予想される。國立社会保障・人口問題研究所が推計した半世紀後の未来を先取りして、外国人1割社会となつた町の現状をどのように受け止めているのか、町長の見解を伺う。



日本語カフェの様子（星槎大学箱根キャンパス）



ガソリンスタンド公設民営で運営する意思はあるか

折橋 尚道 議員



町 今のところ考えは持っていない



終了したガソリンスタンド

問 令和7年度をもって町内の方
ソリンスタンド3営業所が営
業終了となる。町は、この状況をどう
考えるか。

答 町長 事業者に対し聞き取
り調査を実施した。営業終了
の要因について、3事業者とも共通し
ていた事項は、「従業員が足りない」、
「募集をしても集まらない」、「今後の
設備更新や維持管理に多額の費用がか
かる」、「スタンダードの住民利用が少
ない」などの要因であった。こうした状
況で長期にわたり赤字が続いている、
先が見通せない中、営業を続けること
は出来ないとの理由であった。

なお、冬季に必要な灯油については、
箱根登山ブレザントサービス、山越ラ
イフエナジーは配達を継続するので、
他の販売業者とあわせ当面は、安定供
給が図れるものと考えている。

問 共同給油所等、町が管理運営
し、限定車両のみが給油でき
る給油方式の考えを伺う。

答 町長 残るスタンドと連
携・連絡を密にしていかなければ
ならぬと考へて、改めて
公設民営のスタンドを設ける考へは今
のところ持っていない。ただし、様々
なケースに応じて調査するよう指示し
てあるので、その時点で検討はしてい
く。

問 町長の掲げるブランド力の強
化のためには、行政、事業者
のみならず、町に住まう人々もそれぞ
れの立場で行動していくことも重要と
考へるが、ブランド力強化における住
民の役割はどのようなものか伺う。

答 町長 住民を始め、すべての
皆さんとのSDGsへの取り
組みが町の課題解決や自指す姿の実現
につながり、町民の暮らしとそれを支
える観光が両輪となつた「住み続けら
れるまち」・「選ばれ続ける観光地」に
近づいていくこと、すなわち町民憲章
における「町のあるべき姿」の実現に
つながるものである。

問 町は新たに、災害避難所とし
て宿泊施設6施設と覚書締結
を追加した。

しかし、覚書の内容はあくまでも2
次避難所となっているが、大雨等災害
が見込まれる場合、公共施設が避難所

ブランド力強化として避難所覚書の ホテルを最初から使いたい

川口 延明 議員



町 現時点では難しいと考える



11月に行われた覚書の締結

開設となるが、最初から締結した宿泊
施設に避難できないのか伺う。

答 総務防災課長 例えば、災害
発生当初から、すべての避難
者が宿泊施設へ避難することを可能と
してしまった場合、避難所に避難せず
に環境の良い宿泊施設を優先的に利用
したいと考へる避難者が増えてしまつ
ことが予想される。その際、宿泊施設
は、宿泊者や地域住民、
及び観光客で混雑してしまい、宿
泊施設側の対応能力の課題もある
ため現時点では難しい
と考える。

インフラ整備・渋滞緩和策について

鈴木 美貴 議員



町 横断歩道での車両の一時停止や乱横断等、複合的要因が考えられる

問 ガソリンスタンドの閉鎖により、消防車両・防災活動・ごみの収集など住民生活に与える影響についてどのように考えるか伺う。

答 町長 消防車両、防災活動、ごみの収集においては、営業している町内のガソリンスタンド等を有効活用しながら対応してまいりたい。

問 共同給油所等、町が管理運営し、限定車両のみが給油できる給油方式の考え方を伺う。

答 町長 共同給油所は地域住民らが出資者となり、ガソリンスタンドの運営を共同で行うもので、給油できる者は出資者に限定されるものです。そのほか給油設備にもまだ多くの制限があり、実用にはさまざまな課題があり、今後規制緩和、法律改正により少しでも簡単に設置、運営できるようになれば設置の検討に着手できるのではないかと考える。

問 三枚橋の信号を感應式や時差式への変更や現在の定期的時間の変更、バス停設置場所の移動や道路の拡幅等で車両の通行を良くする」とで、渋滞緩和が図れると考えるが、町の考え方を伺う。

答 町長 足柄幹線林道の県道化、バイパスの新設、信号機の設置などについて、関係機関に様々な働きかけや協議を行っており、ご提案のあったものは、渋滞の解消という観点からは、限定的な効果になると思われるが、町の考え方を伺う。

問 また、先行自治体では国の補助金を活用して導入した事例や企業と連携して設置した事例も確認している。こうした取り組みは大いに参考になるものであり、今後、積極的に研究してまいりたいと考えている。

答 町長 町では観光客にごみの持ち帰りを推奨していることは承知している。

問 川敷やバス停付近、公衆トイレ等にご



三枚橋交差点

ごみの環境問題について

勝俣 建吾 議員



町 観光地として、快適な環境の維持に取り組む

問 スマートごみ箱、導入に対する考え方について伺う。

答 町長 スマートごみ箱の導入については、初期導入費用や維持管理費が発生するものの、収集回数を単純に増やし、委託費を追加するよりも費用対効果が見込める場合があると認識している。

また、先行自治体では国の補助金を活用して導入した事例や企業と連携して設置した事例も確認している。こうした取り組みは大いに参考になるものであり、今後、積極的に研究してまいりたいと考えている。

問 箱の設置箇所を増やす予定はないが、今後の調査でスマートごみ箱の有効性が認められれば、民間事業者との連携も視野に入れ、持続可能な美観維持への対応に努めていきたい。

問 約5分の1に圧縮する次世代型ごみ箱※ソーラーパネルで発電し、ごみを自動的に



特別委員会



決算特別委員会の様子

評価したり、今後の行財政運営の改善に役立てる大切な意義があります。

委員長報告

令和6年度決算書はこちら



決算の概要は、広報はこね11月号（P10・11）に掲載しています。



令和6年度予算はこちら



本特別委員会は4日間にわたり、町当局の出席を求め会議を開催。各項目にわたり慎重に審査を行いました。

令和6年度決算額は、一般会計の歳入が145億8,628万円、特別会計（9会計）32億7,503万円、全体で178億6,131万円。歳出は一般会計141億572万円、特別会計31億1,097万円、全体で172億1,669万円となり、前年度比歳入は一般会計が15.2%増、特別会計が0.2%の減、歳出では一般会計15.7%の増、特別会計0.8%の減となりましたが、ふるさと納税及び固定資産税超過課税の影響や、町債増などによるものであり、財政状況は引き続き深刻であると言わざるを得ない状況であります。

高齢化社会や、老朽化が進むインフラへの対応等も必要であり、依然として中長期的な財源不足が見込まれるため、財政運営にあたっては、本委員会での意見や指摘事項等に留意され、より一層の財政健全化に努めるとともに、持続可能な行財政運営を目指し、計画的・効率的な行財政運営を要望します。

各議案の採決結果ですが、議案第72号一般会計から議案第75号介護保険特別会計までは賛成多数、議案第76号から第79号の財産区特別会計及び議案第80号温泉特別会計、議案81号育英奨学金特別会計は全員賛成により認定しました。

決算特別委員会委員長 勝俣泰彦

討 論

決算認定に対しての、賛成・反対討論

賛 成

至 誠 会

令和6年度は円安進行、感染症禍が終息したことによる外国人旅行客の増加が著しく、令和5年度の各月観光来町者数を堅調に上回る年度であった。しかし労働力不足の課題はサービス業や公共交通機関に大きな影響を与えており、外国人旅行客増という好材料を活かしきれない状況があった。また本町は観光資源が豊富な点から、これまで成果を上げてきている「ふるさと納税」の更なる取り組みを、また現在進められている「宿泊税」の議論を併せて推進していくことを要望する。労働力不足に対しては外国人労働人口が増加していることから、相互理解と地域社会への取り込みに向けた環境づくりがより求められる。関連事業の推進と共に施策の強化も要望する。町職員の皆様におかれましては本町・箱根町を、これからを担う世代にしっかりと引き継いでいくよう邁進していただき、至誠会としての賛成討論とする。

賛 成

緑風クラブ

一般会計の歳入総額から歳出総額を差し引いた額が4億8,055万7,732円の黒字となったことは、的確な運営がされている結果である。また、財政調整基金の残高が14億2,972万5,000円となり、ふるさと納税などにより、着実に積立てられている状況は大変喜ばしいことである。今後は、町民の利活用や観光客の利用実績とその年間の維持管理費等を鑑み、公共施設のあり方を見直し、将来世代に過度な負担を残さないための行財政運営が必要の中、全職員が一丸となって、令和8年度の予算編成に取り組んでいただくことを切に願う。

反 対

日本共産党

2024年度は「物価高騰」が厳しさを増し、暮らしと生業に影響を及ぼした年だった。そのような中、町税全体の決算額は対前年度比0.3%の増となっているが、個人町民税や固定資産税では多額の滞納が発生していることは大変深刻な状況と言わざるを得ない。現在「当分の間」という具体的な期限の定めもなく、固定資産税の超過課税が行われている。納税者の負担増とともに滞納の実態を考えるならば超過課税は認めることはできない。また、国際観光ホテル整備法による不均一課税は見直しがされることは評価するが、この制度そのものは廃止すべきである。多額の負担となるごみ処理広域化も認められない。

決算認定までの流れ

決算とは予算執行の結果、どのような成果があったかを示す成果報告で、会計年度が終わってから、時間をかけて慎重に審査を行います。

本年は改選のため、10月に新しい議員による審査を行いました。

令和7年3月31日
会計年度終了

令和7年5月31日
出納整理期間終了

- 会計管理者が町長に決算を提出
- 監査委員が決算審査し、町長に意見書を提出

※監査は秋山代表監査委員と、勝俣剛一監査委員が厳正に行いました。

令和7年
10月臨時会

町長が監査委員の意見書を添えて議会に上程
議会で決算特別委員会を設置

決算特別委員会での審査
(質疑)

開催日 11月4、5、11日
審議時間 午前10時～午後5時

12月定例会(11月28日)で討論を行い各会計ごとに採決

全員賛成または
賛成多数で認定された

※賛否が分かれた議案は、P 9の議員別議案賛否をご覧ください。

令和6年度 決算

決定した予算が適正に執行されたか審査し、その行政効果や経済効果を

議員の注目ポイントはココです！

歳入編

- 町民税・固定資産税の不納欠損
- 入湯税の収入
- 森のふれあい館の収入
- ジオミュージアムの収入
- 湿生花園の収入
- 町内ナイター施設の利用状況
- 公民館の収入
- 郷土資料館の収入
- 箱根関所の収入

歳出編

- イノシシ・シカの対策
- オーバーツーリズム未然防止対策
- 公衆トイレの管理
- 弥坂湯事業の今後
- 旧箱根観光物産館跡地の利活用
- 子育てシェアタウン推進事業
- 人材確保等支援事業
- 道路・橋りょうなどのインフラ整備
- 消防・救助業務推進事業
- 大涌谷火山対策
- 木造住宅耐震化補助事業
- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計
- 温泉特別会計

審査のチェックポイント

決算審査においては、議員は特にこのようなことに注視しています。

～歳入編～

- ・町税等の収入の状況確認
- ・補助金の確保の動向
- ・町債等の動向
- ・その他の収入動向

～歳出編～

- ・支出の適法適正の動向
- ・不要額の妥当性
- ・予算流用の適正状況
- ・予備費の充当の適正度
- ・補助金の効果
- ・その他留意事項について
- ・主な施策の成果の活用
- ・財産に関する調書明細書と活用
- ・基金の運用状況の審査
- ・財産運用の適否の判断
- ・事業の出来高と出来具合の審査



決算特別委員会の様子

12月定例会 (11月28日～12月9日)

議決件数 (36件)

決算認定 (付託案件) (10件)

P 6～7に決算審査関連記事を掲載

令和6年度 箱根町一般会計及び9特別会計歳入歳出決算の認定について、決算特別委員会に付託 (*) されていたもので、委員長報告のとおり認定された。 (*付託・詳細に審査するため各委員会で検討すること)

条例制定 (2件) 可決

第85号 箱根町犯罪被害者等支援条例の制定について

犯罪被害者等が安心して暮らすことができる地域社会を実現するため、権利利益の保護並びに被害の軽減及び回復を図るため、新たに条例を制定する。

第86号 箱根町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について (誰でも通園制度)

保育所等に入園していない子どもも含め、全ての子どもの育ちを応援し、全ての子育て家庭に対する支援給付として令和8年度から実施される条例を制定する。

条例改正 (5件) 可決

第87号 箱根町職員の給与に関する条例及び箱根町非常勤職員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

若年層に特に重点を置きつつ、全ての職員を対象に給料月額を引き上げる。

会計年度任用職員の報酬の基準月額を、一般職の職員の給料月額の引上げに準じて、同様の引上げを行う。

第88号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

人事院勧告による一般職の期末手当の改定に伴う、町長、副町長、教育長の期末手当の改定。

第89号 箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

特別職の期末手当改定に伴う、議員の期末手当の改定。

第90号 箱根町町税条例の一部を改正する条例の制定について

国際観光ホテル整備法 (*) による固定資産税の不均一課税 (*) の軽減期間に関し、現行条例の一部を改正する。

(*国際ホテル整備法 ホテルが“外国人にも安心で快適か”を国基準でチェックし、税制上の優遇措置等が受けられる)

(*不均一課税 固定資産税などを一律ではなく一定期間、軽減すること)

第91号 箱根町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

林野火災は、貴重な森林資源を大量に消失するおそれや、家屋等への被害、県市町境を越えた拡大などが懸念され、新たに林野火災注意報や林野火災警報を規定し、的確に発令等を行い、林野火災予防対策を高めるため、一部を改正する。

補正予算 (4件) 可決

第92号 令和7年度箱根町一般会計補正予算 (第4号)

補正額 1,317,779千円 補正後の総額 15,689,199千円

主な内容

(歳入)	(歳出)
・障がい者自立支援給付費等国庫負担金追加	14,310千円
・障がい者自立支援医療費国庫負担金更正減	△3,177千円
・障がい児施設措置費国庫負担金追加	243千円
・児童手当国庫負担金追加	2,361千円
・児童手当国庫負担金過年度分	6千円
・教育支援体制整備事業費国庫補助金	398千円
・障がい者自立支援給付費等県負担金追加	7,155千円
・障がい者自立支援医療費県負担金更正減	△1,588千円
・障がい児施設措置費県負担金追加	121千円
・児童手当県負担金更正減	△173千円
・ふるさと納税寄付金追加	1,200,000千円
・企業版ふるさと納税寄付金追加	1,000千円
・財政調整基金繰入金追加	97,123千円
	・人件費追加
	83,261千円
	・電子計算処理推進事業追加
	421千円
	・ふるさと納税促進事業追加
	580,300千円
	・多文化共生推進事業追加・財源内訳更正
	199千円
	・諸経常経費追加
	967千円
	・財政調整基金積立金追加
	619,700千円
	・心身障がい者福祉経常経費追加・更正減
	22,135千円
	・後期高齢者医療特別会計繰出金追加
	7,306千円
	・認定こども園整備事業追加
	555千円
	・保育所整備事業
	271千円
	・児童措置経常経費追加・財源内訳更正
	2,015千円
	・小学校教育振興経常経費追加・更正減
	240千円
	・中学校教育振興経常経費追加・更正減
	235千円
	・幼稚園園舎等整備事業
	174千円

第93号 令和7年度箱根町国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)

補正額 23,626千円 補正後の総額 1,187,654千円

第94号 令和7年度箱根町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)

補正額 7,306千円 補正後の総額 450,306千円

第95号 令和7年度箱根町水道事業会計補正予算 (第1号)

主な内容

(歳出) 営業費用追加 1,000千円

指定管理者の指定*（9件） 可決**第96号 箱根町畠宿寄木会館指定管理者の指定について**

畠宿寄木会館プロジェクト

第97号 箱根町集会所指定管理者の指定について

山崎集会所は山崎自治会 湯本仲町集会所は湯本仲町自治会

大平台集会所は大平台自治会 芦之湯集会所は芦之湯自治会

箱根集会所は箱根集会所管理運営委員会 元箱根集会所は元箱根集会所管理運営委員会

第98号 箱根町弥坂湯指定管理者の指定について

弥坂湯管理委員会

第99号 箱根町宮城野温泉会館指定管理者の指定について

宮城野温泉会館管理運営委員会

第100号 箱根町老人福祉センターやまなみ荘指定管理者の指定について

一般社団法人 箱根町シルバー人材センター

第101号 箱根町駐車場指定管理者の指定について

箱根町宮ノ下駐車場は箱根宮ノ下観光協会 箱根町八丁駐車場は元箱根観光協会

第102号 仙石原公園いこいの家指定管理者の指定について

一般社団法人 箱根町シルバー人材センター

第103号 箱根町総合体育館指定管理者の指定について

学校法人 国際学園

第104号 箱根町宮城野テニスコート指定管理者の指定について

箱根町宮城野木賀観光協会

(* 指定管理者 町の施設を、効率よく運営できる民間に任せる制度)

町道路線の廃止（2件）**可決**

教育福祉環境常任委員会へ付託（委員会報告はP10に掲載）

第105号 町道路線の廃止について（町道温63号線・町道温64号線、大平台字大向）

本路線にある第4種踏切を廃止する目的で、鉄道事業者が代替路の整備を計画しており、廃止しても周辺の土地利用等に支障がないと認められるため。

第106号 町道路線の廃止について（町道仙206号線、仙石原字イタリ～仙石原字長尾）

本路線は現況がなく、一般的の交通用として用途を喪失し、町道として存続する必要がないため。

事務委託に係る協議（4件） 可決**第107号 小田原市と箱根町との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止に関する協議について****第108号 大井町と箱根町との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止に関する協議について****第109号 南足柄市と箱根町との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止に関する協議について****第110号 松田町と箱根町との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止に関する協議について**

コンビニエンスストアで証明書の発行ができるようになったこと、また令和6年3月1日から戸籍の全国的な広域交付が始まったことで、県西広域交付の必要がなくなった。

議会議事案件**第111号 箱根町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

平成30年の一般廃棄物処理手数料の見直しから7年ほど経過し、エネルギー価格、資材価格、人件費の高騰や、県内市町における一般廃棄物処理手数料の見直しが行われ、脱炭素社会の実現のため、廃棄物の排出抑制や再利用等による資源循環の推進を図る必要性から、一般廃棄物処理手数料等について見直しを行う。

※閉会中の継続審査として、教育福祉環境常任委員へ付託され、総務企画観光常任委員会との合同審査となりました。

議員別議案賛否一覧

議案採決表は賛否が分かれた議案のみ掲載をしています。そのほかの議案採決はすべて全員賛成で議決されました。

議案番号	議案名	議決結果	山田	勝俣	鈴木	丸子	勝俣	川口	山田	稻葉	折橋	勝俣	沖津	村野
			和江	健吾	美貴	英人	陽二	延明	成宣	親太郎	尚道	泰彦	弘幸	由紀子
72	令和6年度箱根町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
73	令和6年度箱根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
74	令和6年度箱根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
75	令和6年度箱根町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
86	箱根町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
88	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
89	箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
98	箱根町弥坂湯指定管理者の指定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	一
103	箱根町総合体育館指定管理者の指定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	一

議案の詳細等につきましては、こちらをご覧ください



※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 −：議長は採決に参加しません。

委員会・議会活動報告

議案第85号 箱根町犯罪被害者等支援条例の制定について



総務企画観光常任委員会 委員長 勝俣泰彦



委員会の様子

本議案は12月定例会において総務企画観光常任委員会に付託され、町当局の出席を求め、慎重に審査を行った。

本条例は、犯罪被害者の支援等について、基本理念を定め、町の責務、町民や事業者等の役割を明らかにするとともに、犯罪被害者等の支援の基本となる事項を定め、支援のための政策を総合的に推進するための条例であり、各委員から、条例制定に至った経緯、犯罪被害者の定義や範囲、被害者への支援内容及び関係機関との連携などについて質疑が行われた。

本条例は犯罪被害者等の権利利益の保護並びに被害の軽減及び回復を図り、安心して暮らすことができる地域社会を実現するための基本原則を定めた条例であることから、採決の結果、全員賛成により原案のとおり可決するべきものと決定した。

教育福祉環境常任委員会 活動報告（議案第86、105、106号）



教育福祉環境常任委員会 委員長 川口延明

12月定例会で付託案件となった3件の議案に対して、委員会を開催した。

1件目は、新規条例制定で「箱根町乳児等通園支援事業（子ども誰でも通園制度）の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」であり、所管課と詳細な意見交換を行った。

この事業は、全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するために創設された、新たな通園制度である旨の説明を受け理解をした。



現況のない町道を現地確認

また同日、2、3件目の町道路線の廃止案件の現地確認を行い、箱根登山鉄道の大平台駅近くの踏切（警報機、遮断機のない第4種踏切）廃止に係る町道の廃止場所を確認し、この町道は鉄道事業者による代替路の整備計画が計画されており、本路線を廃止しても周辺の土地利用並びに公益上支障がないと認められることを確認した。また、湖尻地区のレイクアリーナ付近に残る現況のない町道について、現地確認を行い、町道がホテル計画地に入っているが払い下げを行っても現況がなく存続する必要がないことを確認したので廃止することとした。



委員会の様子



行財政改革調査特別委員会 12月定例会中間報告

行財政改革調査特別委員会 副委員長 稲葉親太郎

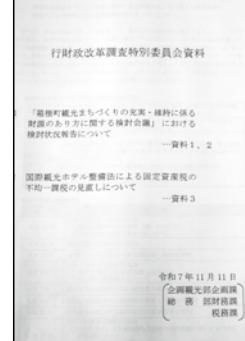
議員全員が出席する中、委員会を開催し、2件の議題と報告が1件あり、まず最初に「箱根町観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議」における検討状況、2つ目「国際観光ホテル整備法による固定資産税の不均一課税の見直し」、3つ目「箱根町廃棄物減量等推進審議会の審議状況」についての報告があった。

「箱根町観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議」における検討状況についてでは、長期の財源不足への対応として、新たな財源確保策を検討するということで、本年5月に検討会議が取りまとめた中間報告書の提出を受け、本町の観光まちづくり財源確保策として、令和10年4月から宿泊税を導入することを目指すとの説明があり、その後多くの委員より質疑があった。

続いて「国際観光ホテル整備法による固定資産税の不均一課税の見直し」については、12月定例会に条例改正案が上程され、11月28日に全員賛成により可決され、令和8年4月1日から施行されることとなった。

最後に、「廃棄物減量等推進審議会の審議状況について」の報告があり、事業系一般廃棄物処理手数料の改定の審議について改定の要否、改定額の妥当性、改定の時期についての説明があった。

それぞれが重要な案件であるため、今後も継続して調査研究をしていくもの。



当日の資料



令和7年度 自治功労者表彰式・町村議会議員研修会

【自治功労者表彰式】

神奈川県町村議長会主催「令和7年度自治功労者表彰式・町村議会議員研修会」が、仙石原文化センターで開催されました。

町村議長会自治功労者は「6年以上町村議会議長の職にあるもの」の区分で三浦郡葉山町から1名、「11年以上町村議会議員の職にあるもの」の区分で中郡二宮町から5名の方が該当されました。今回、神奈川県町村議長会会长の村野議長から表彰状が手渡されました。

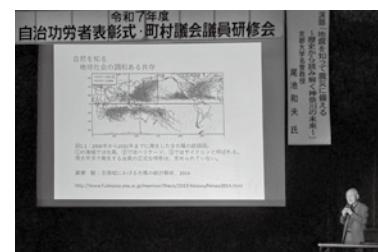
【町村議会議員研修会】

自治功労者表彰式終了後には「地震を知って震災に備える～歴史から読み解く神奈川の未来～」とのテーマで、研修会が行われました。講師は京都大学名誉教授、元京都大学総長、前静岡県立大学学長・理事長の尾池和夫先生が担当されました。

地震の予知について尾池先生は「地震が発生するところはほぼ決まっている」との説明の上で「歴史を辿ることができるかが地震を考えるうえで重要」と話をされました。その点、日本は平安期から継続的に書物が残っている世界的に珍しい文化を有しているので、だからこそ地震は決まって同じところで周期的に発生するということが歴史から確認できたと述べられていました。

このような資料はすでにデータ化されていて、国内で確認されている断層についてはすべて収録されている「活断層データベース」も公開されているとのことでした。活断層データベースは断層ごとのカルテのようなものなので、ぜひ地域の防災のために役立ててほしいとの提案もありました。

最後に尾池先生は「安心」と「安全」は全く異なる点を強調されました。「安心」とは個人の主觀で「安全」はその時の状況を示すもの。今回のテーマは防災という意味で、人の感情とその場面の状況は別のものとして考え、それをまとめていくことが政治に求められるのではないかとの提言がありました。「安心」が得られるための「安全」な環境構築は、まさに行政運営の主題だと改めて感じることができました。 (丸子英人)



議員活動報告

皆さんの日常的な活動に参加し、報告していきます。情報をお待ちしています！



午前中、体育館ではステージ発表が行われ、特に洞爺湖使節団による発表は、洞爺湖町の中学生との交流の様子が、わかりやすく説明され大変心に残るものでした。午後からは、町内の小学6年生を含めた全員合唱や、各学年ごとの合唱が行われ、これらの歌声は大変心に響くものがありました。

(勝俣陽二)

第102回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会

東京都の国営昭和記念公園にて箱根駅伝予選会が開催されました。42校の大学のうち上位10校が箱根駅伝への出場を果たすことから、各校戦術を駆使した熾烈な争いとなりました。箱根町からは議会議員4名と副町長、町職員2名が視察し、関東学生陸上競技連盟の植田会長を表敬訪問しました。(丸子英人)



令和7年度男女共同参画講演会

仙石原文化センターで「避難生活で命と健康、本当に守れますか?」～被災地の実情から学ぼう！女性・高齢者・障がい者・子どもなどの視点から～と題し開催され、多様な人が支援や共助の決定プロセスに参加することで、地域防災等において、社会の男女の関係性などを変えていく必要があることを学びました。 (鈴木美貴)



宮城野地域モルック大会

箱根中学校グラウンドにおいて宮城野体育協会主催によるニュースポーツのモルック大会を行いました。当日は、地域にお住まいの80才代から小学生までの老若男女38名9チームに分かれて、和気あいあいと競技を楽しみました。 (稻葉親太郎)



はこねスポーツまつり2025

箱根町体育協会のイベント、はこねスポーツまつり2025が星槎レイクアリーナ箱根で開催されました。

地域対抗種目としてユニカール・輪投げ・モルックが行われ、真剣に競技に取り組みました。

皆さん、地域を越えた親睦も図れ、楽しく充実した時間を過ごしました。 (勝俣建吾)



11/7 ~ 9

第64回箱根町民文化祭

社会教育センターで絵画など様々な部門の作品等が展示され、音楽のつどい、ステージコーナーのほか、子ども体験コーナーとして、茶道・カンバッジ体験など、趣向を凝らした文化祭となりました。

(鈴木美貴)



箱根町立 箱根幼稚園

11/7

箱根幼稚園「焼き芋大会」

地域住民の方々によって、旧箱根小学校校庭に焚火が準備され、「焼き芋」を焼きながら、園児たちからは「まだかな～」のにこにこ顔が見えます。数十分後、ベンチに参加者が座って、出来立ての焼き芋を美味しいいただきながら楽しいひと時を過ごしました。

(川口延明)



11/16

国立公園 箱根白浜ガイドツアー

環境省箱根事務所が開催した「国立公園箱根白浜ガイドツアー（マウンテンバイク）」が行われました。芦ノ湖西海岸 白浜までをマウンテンバイクで移動です。白浜湖岸では、主催者さんが「黒文字」の枝から採取したお茶を試飲体験させてくれました。

(川口延明)



11/9

第62回美化大会、湯本小学校お披露目会

美化活動での貢献者表彰と併せて、標語・ポスター・作文で入賞した方々の紹介があり、標語と作文で1等に入賞した仙石原小「加藤結杏さん」と函嶺白百合学園中「古宇田千歳さん」お二人から作品の発表と朗読が披露されました。

その後リニューアルを終えた学校の内覧を済ませました。

(折橋尚道)



旧箱根観光物産館等跡地

11/19

旧箱根観光物産館等跡地の今後の利活用に係る説明会

建物の解体が完了した旧物産館等跡地の利活用について、地域団体で構成する協議会の検討経過や、現時点の方向性（案）に関する説明会が行われ、設置機能や暫定利用期間中の管理等について、意見が交わされました。

(沖津弘幸)



11/17

箱根地区「夜間避難訓練」

箱根西、東地区自治会会員を対象に、「夜間避難訓練」が行われました。

訓練は昼間に行われることが多いですが、災害はいつ起こるかわからない中で、初めて夜間に実施されました。住民約60名が参加、町担当課の職員により、避難時の持ち物についても講習があり、災害時避難を確認できた訓練でした。

(川口延明)



12/7 仙石原みんなの祭り

昨年まで、主に仙石原地区で活動している団体を中心に親しまれてきた「文化センターまつり」を各地域のイベントも減少傾向にあることから、参加団体を広く募り、地域コミュニティの更なる向上を目的にした「みんなの祭り」として、他の地域からの参加もあり、賑わっていました。(鈴木美貴)



12/16 空き家活用とまちの可能性を探る勉強会

omusubi不動産主催、空き家活用とまちを考える「箱根あきやLAB. (ラボ)」が、宮ノ下のNARAYA CAFEで開催。会場主の安藤義和さんの司会で、soraAnna・安井勉さんと台湾出身のHAKONE PICNIC・李 佳隆さんがパネラーとして開店の経緯や移住者としての経験談を話されました。約30人が参加され会場は満員、話の内容も素晴らしかったです。(折橋尚道)



11/20 大涌谷火山の安全対策講演会

やまなみ荘で大涌谷火山安全対策について講演会が多くの参加者を受けて開催されました。大涌谷安全対策や災害の歴史などの説明に続き、令和7年3月に改定された、箱根町(大涌谷)火山避難計画の説明などを受けました。避難計画の対象となる方々から多くの質問が出していました。(折橋尚道)



12/13 第5回箱根町交通安全総ぐるみ大会

町内の交通安全の推進と事故防止を図るために開催されました。今年は交通安全功労者として3名の方が表彰されました。また交通安全ポスターコンクールでは、夏休みの課題として提出された力作の中から、8名の小中学生が表彰されました。大会の最後には、箱根中学校吹奏楽部さんの素敵なお演奏もありました。(稻葉親太郎)



12/26 歳末火災特別警戒町長特別巡視

町内消防機関の警戒体制の強化と、町民や観光客の防火意識の高揚を図り、火災発生の未然防止のため、消防11箇所の各分団と消防本部に対して、歳末火災特別警戒町長特別巡視が実施されました。議会からは、村野議長と勝俣泰彦総務企画観光常任委員長が参加し、各分団に激励や感謝の言葉を述べました。(勝俣泰彦)

12/18 箱根駅伝 ゴールポール設置

毎年、年末になると箱根町箱根観光協会の会員有志で箱根駅伝のゴール・スタート地点で寄木模様のゴールポールを設置します。この塔が設置されると、観光のお客様の写真撮影が一気に増えてきて賑わいが増します。

箱根駅伝はさすがにメジャーな大会だと、我々も気合が入り、準備に拍車がかかります。(川口延明)





1/13

箱根町消防出初式

午前10時、湯本富士屋ホテル コンベンションホール箱根において式が挙行され、第1部では地域社会の安全確保に努力している団員48名に対して、町長表彰、神奈川県知事表彰、神奈川県消防協会足柄下支部長表彰、消防団表彰が贈られ、続いて、宮城野保育園・箱根幼稚園幼年消防クラブの園児たちによる可愛らしい演技の後、会場を屋外に移し、第2部では各分団の消防車両によるパレードが行われ、最後に早川河川で一斉放水式が終了しました。 (鈴木美貴)

1/6

令和8年箱根町新春の集い

新春の集いが湯本富士屋ホテルで開催され、全議員が出席し新年のお祝いを喜びました。また、栄えある表彰を受賞された皆様、心からお祝い申し上げます。特別アトラクションでは尺八・箏二重奏が披露され、和やかな式典となりました。 (村野由紀子)

毎月

**監査委員の仕事 例月出納検査**

毎月一度、例月出納検査というものがあります。

町長より委嘱を受けた2人の監査委員は町内在住の秋山英一さんと、町議会からは山田成宣が努めています。

一般会計から上下水道等、すべてのお金の流れを毎月厳しくチェックしております。 (山田成宣)

議長フォトレポート

10

22水



10月22日～23日 神奈川県町村議会議長行政視察

宮城県大和町

10

23木



宮城県石巻市

1

12月祝



20歳を祝う会

10月22日～23日 神奈川県町村議会議長行政視察

宮城県石巻市

3月定例会開催日 (予定)**本会議**

**2月18日(水)、3月2日(月)、5日(木)、6日(金)、
10日(火)、12日(木)、16日(月)、17日(火)**

※ 3月定例会開催日については、2月12日(木)開催の議会運営委員会に

おいて決定いたしますので、変更となる場合があります。

詳しくは、議会事務局(☎85-9570)までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。



箱根町百景めぐり



箱根の 湯立獅子舞



箱根仙石原神楽保存会



箱根宮城野獅子舞保存会



編集後記

一年で最も寒さの厳しい時期ですが、春は確実に近づいています。

本号では、令和7年12月定例会での審議内容や、町民の方から寄せられた意見や要望等に対して各議員が質問した内容や議論を中心にお伝えしました。

議会は、3月、6月、9月、12月に定例会が開催され、これから始まる3月定例会においては、新年度の予算について審議が行われる重要な議会となり、9月定例会では、前年度に使われた予算が適正に使われたかを「決算特別委員会」の場で審議し、翌年度の予算に反映できるよう議論しています。

議会では、将来を見据えた議論や、日々の暮らしを支えるための話し合いを通して、町民一人ひとりの声を受け止め、より良い箱根をつくる場としての役割を担っています。

今後も、開かれた議会を目指し、情報発信の充実に努めてまいりますので、町民の皆様からのご意見や要望をお待ちしております。

(文責：鈴木美貴)

【お詫びと訂正】

このたび、議会だよりNo.222（令和7年11月号）14ページ、9月28日 宮城野地域健民大会の掲載画像に誤りがありました。正しくは右側の写真ですので、お詫びして訂正いたします。

湯立獅子舞は獅子が湯立神樂を舞う、全国的にも箱根町と静岡県御殿場市の一部にのみ伝わる希少な民俗芸能で、国重要無形民俗文化財に指定されています。江戸時代中期の安永5年（1776）に甲州（現在の山梨県）の萱沼儀兵衛によって伝えられ、今年で250年を迎えます。

現在箱根町内では宮城野と仙石原に伝えられ、宮城野では毎年7月15日の天王祭、仙石原では毎年3月27日の諏訪神社例大祭と5月5日の公時まつりに奉納されます。

湯立獅子舞は平舞、行の舞、宮めぐりの舞、釜（釜めぐり）の舞、四方固めの舞など七つ（宮城野では六つ）の演目で行われ、各演目は基本的に幕の舞、幣の舞、鈴の舞（剣の舞）、狂いの四つの舞で構成されています。

獅子頭を被った舞手は、舞ごとに幣束や鈴、剣と持ち物を変え、囃子（下方ともいう）の笛や太鼓、歌に合わせて舞います。クライマックスは釜（釜めぐり）の舞で行われる湯立では、煮えたぎる釜の湯を法言と幣束で冷まし、熊笹の葉を束ねたユタブサ（湯熊笹）で神社や参拝者に掛けて祓います。

湯立獅子舞は、地域に災いをもたらす疫病や災害から地域を守り、五穀豊穣や室内安全などの祈りを込めて、今日まで伝承されてきたものです。

（稻葉親太郎）



宮城野地域健民大会 トロフィー授与